



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月1日

上場会社名 トリニティ工業株式会社
コード番号 6382 URL <https://www.trinityind.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 玉木 利明

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 乗安 弘治

TEL 0565-24-4802

四半期報告書提出予定日 2023年2月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	20,095	19.3	197	86.3	596	67.2	596	51.7
2022年3月期第3四半期	24,895	4.0	1,446	1.0	1,818	11.4	1,234	8.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 838百万円 (49.1%) 2022年3月期第3四半期 1,648百万円 (32.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	36.66	
2022年3月期第3四半期	75.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	37,603	27,542	71.5	1,674.21
2022年3月期	38,786	27,557	69.5	1,640.58

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 26,880百万円 2022年3月期 26,960百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		15.00		19.00	34.00
2023年3月期		15.00			
2023年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	15.1	550	71.5	1,000	57.2	1,000	44.9	61.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	18,220,000 株	2022年3月期	18,220,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,164,402 株	2022年3月期	1,786,354 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	16,272,225 株	2022年3月期3Q	16,420,366 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は200億9千5百万円と前年同四半期と比べ48億円(19.3%減)の減収となりました。

営業利益は1億9千7百万円と前年同四半期と比べ12億4千8百万円(86.3%減)の減益、経常利益は5億9千6百万円と前年同四半期と比べ12億2千1百万円(67.2%減)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億9千6百万円と前年同四半期と比べ6億3千8百万円(51.7%減)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・ 設備部門

設備部門は、塗装設備納入等の減少により売上高は147億7百万円と前年同四半期と比べ46億1千4百万円(23.9%減)の減収、営業利益は17億4百万円と前年同四半期と比べ9億7百万円(34.7%減)の減益となりました。

・ 自動車部品部門

自動車部品部門は、内装部品及び外装部品の販売の減少により売上高は53億8千7百万円と前年同四半期と比べ1億8千6百万円(3.3%減)の減収、営業損失は1億4千8百万円(前年同四半期は1億2千4百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.2%減少し、244億3百万円となりました。これは、電子記録債権が10億1千万円増加、現金及び預金が8億5千2百万円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が33億7千5百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、132億円となりました。これは、有形固定資産のその他(純額)が4億7百万円増加した一方、投資その他の資産のその他が5億2千7百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、376億3百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.9%減少し、86億6千3百万円となりました。これは、その他が3億2千5百万円増加した一方、電子記録債務が7億5千7百万円減少、賞与引当金が3億5千1百万円減少、未払法人税等が1億5千1百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.0%減少し、13億9千7百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が8千3百万円増加した一方、その他が1億9千4百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて10.4%減少し、100億6千万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し、275億4千2百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が5億1千7百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が3億9千9百万円減少、自己株式の取得等により2億4千3百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年10月31日に公表いたしました予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,880,952	12,733,803
受取手形、売掛金及び契約資産	10,963,048	7,587,691
電子記録債権	1,070,498	2,080,863
製品	41,267	46,046
仕掛品	611,491	984,852
原材料	409,316	411,403
その他	486,952	560,408
貸倒引当金	△2,795	△2,036
流動資産合計	25,460,731	24,403,032
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,226,839	5,224,365
その他(純額)	4,003,995	4,411,599
有形固定資産合計	9,230,834	9,635,964
無形固定資産		
	136,749	132,683
投資その他の資産		
その他	3,990,378	3,463,264
貸倒引当金	△31,787	△31,250
投資その他の資産合計	3,958,591	3,432,014
固定資産合計	13,326,175	13,200,662
資産合計	38,786,907	37,603,694
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,513,190	3,402,736
電子記録債務	3,427,095	2,669,668
未払法人税等	301,152	149,470
賞与引当金	715,879	364,406
役員賞与引当金	67,476	52,406
完成工事補償引当金	42,744	38,888
その他	1,660,453	1,985,927
流動負債合計	9,727,991	8,663,505
固定負債		
役員退職慰労引当金	52,060	58,492
退職給付に係る負債	372,536	456,155
その他	1,077,193	882,622
固定負債合計	1,501,789	1,397,269
負債合計	11,229,781	10,060,774

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,311,000	1,311,000
資本剰余金	788,694	779,599
利益剰余金	25,166,802	25,210,256
自己株式	△1,584,530	△1,828,223
株主資本合計	25,681,965	25,472,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,268,559	869,256
為替換算調整勘定	318,868	836,190
退職給付に係る調整累計額	△308,655	△297,569
その他の包括利益累計額合計	1,278,772	1,407,877
非支配株主持分	596,387	662,409
純資産合計	27,557,125	27,542,919
負債純資産合計	38,786,907	37,603,694

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	24,895,605	20,095,008
売上原価	20,140,983	16,438,219
売上総利益	4,754,621	3,656,788
販売費及び一般管理費	3,308,407	3,459,122
営業利益	1,446,214	197,666
営業外収益		
受取利息	28,449	26,547
受取配当金	50,980	47,683
為替差益	1,603	15,224
持分法による投資利益	194,273	244,819
雑収入	104,228	80,826
営業外収益合計	379,535	415,100
営業外費用		
支払利息	639	313
固定資産除却損	6,394	8,067
固定資産売却損	—	2,373
支払補償費	—	4,808
雑支出	582	827
営業外費用合計	7,616	16,391
経常利益	1,818,133	596,376
特別利益		
投資有価証券売却益	—	318,362
特別利益合計	—	318,362
税金等調整前四半期純利益	1,818,133	914,738
法人税等	544,643	268,574
四半期純利益	1,273,489	646,163
非支配株主に帰属する四半期純利益	38,545	49,636
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,234,944	596,527

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,273,489	646,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	219,355	△399,303
為替換算調整勘定	116,649	551,256
退職給付に係る調整額	28,360	11,085
持分法適用会社に対する持分相当額	10,988	29,560
その他の包括利益合計	375,354	192,599
四半期包括利益	1,648,844	838,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,614,918	725,631
非支配株主に係る四半期包括利益	33,925	113,131

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設備部門	自動車部品 部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,321,689	5,573,915	24,895,605	—	24,895,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,321,689	5,573,915	24,895,605	—	24,895,605
セグメント利益	2,612,773	124,735	2,737,508	△1,291,294	1,446,214

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,291,294千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設備部門	自動車部品 部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,707,642	5,387,365	20,095,008	—	20,095,008
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,707,642	5,387,365	20,095,008	—	20,095,008
セグメント利益又は損失(△)	1,704,990	△148,912	1,556,078	△1,358,411	197,666

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,358,411千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。